

首都大学東京 公開講座2014 8/18(月)夜7時～



【話題1】小笠原ことばにみる小笠原文化

《講師》ダニエル・ロング（首都大学東京・人文科学研究科・教授）

《概要》小笠原のことばにはその使い道や特徴が秘められているものがあります。アレキサンドロという木の名称は、斧の柄（アックス・ハンドル）に適した堅い木材であることに由来します。講演ではチキンバード、ヘンパーム、ボースン、カイガンタバコ、メガネノキ、ティーウッド、ルーベルといった島名から小笠原の文化や生活について考えてみたいと思います。



水中メガネ(木製)

ロース記念館の水眼鏡

小笠原 ビジターセンター 講演会



【話題2】島の生物学と保全に関する 国際学会に参加して

《講師》可知直毅（首都大学東京・理工学研究科・教授）

《概要》7月7日から11日にハワイ大学で、世界の島の生物学と保全を研究している専門家400人以上が集まる国際学会が開かれました。そこで発表された最先端の研究から、小笠原の未来を考えるヒントになりそうなものを、わかりやすく紹介したいと思います。



海魚を護るネズミ柵（オアフ島）



ハワイ大学



ハワイ大学で開催された第1回島の生物学国際会議

<主催> 首都大学東京

<共催> 公益財団法人財東京都公園協会

BIO(ボニン・インタープリター協会)

問合せ ビジターセンター 04998-2-3001